

《基礎分野》

授業科目	心理学
開講時期	1年次 6月
単位	1
時間数	15
担当講師	齋藤匠真(公認心理師) 大倉雄一(公認心理師)
科目目標	人間の認知、行動、心の発達を心理学的な立場から広く理解し、人間理解の基礎を養う
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学導入(心理学とは、看護と心理学)</li> <li>2. 感覚・知覚(認知)</li> <li>3. 記憶(認知)</li> <li>4. 言語(認知)</li> <li>5. 欲求と動機づけ(行動)</li> <li>6. 葛藤(行動)</li> <li>7. 学習(行動)</li> <li>8. 社会・集団(人間関係)</li> <li>9. 性格・知能(パーソナリティ)</li> <li>10. 発達段階・発達課題(発達)</li> <li>11. ストレスコーピング(心理臨床)</li> <li>12. 適応(心理臨床)</li> <li>13. カウンセリングと心理療法(心理臨床)</li> </ol>
授業形式	講義
テキスト	ベーシック心理学(医歯薬出版)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	社会学
開講時期	1年次 4月
単位	1
時間数	30
担当講師	池添博彦(帯広大谷短大名誉教授)
科目目標	社会的存在としての人間、そのつながり基盤となる家族について学び、多様な社会関係の理解に役立てる。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会・家族について</li> <li>2. 人の集団について</li> <li>3. 家族の種類</li> <li>4. 学習とは</li> <li>5. 家族行事</li> <li>6. 認知症について</li> <li>7. 差別について</li> <li>8. 家族資源・家族関係</li> <li>9. 言葉による性差別</li> <li>10. 役割</li> <li>11. 言葉と性</li> <li>12. 家族の機能</li> <li>13. 家族構造</li> <li>14. 家族について</li> <li>15. まとめ・家族について</li> </ol>
授業形式	講義
テキスト	コンビープな仲間達
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	法学
開講時期	1年次 4月
単位	1
時間数	15
担当講師	阪口 剛 (阪口法律事務所)
科目目標	受療者の利益を擁護し、自己を護るために必要な、基本的な法的知識を身につける。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション 弁護士の仕事・「法」と何か・法的思考</li> <li>2. 憲法総論 法の下での平等/個人の尊厳</li> <li>3. 刑事責任 看護師と刑事事件</li> <li>4. 民事責任 看護師の過失</li> <li>5. 安楽死・尊厳死 看護と労働法 看護師の法的位置づけ</li> <li>6. 臓器移植法/守秘義務/個人情報取り扱い</li> <li>7. 演習(裁判見学)</li> </ol>
授業形式	講義
テキスト	看護のための法学(ミネルヴァ書房)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	生物学
開講時期	1年次 4月
単位	1
時間数	30
担当講師	山崎 栄樹(帯広畜産大准教授)
科目目標	生物の生態、生殖、遺伝と発生を学び、生物的存在としての人間、さらには自然環境の変化について理解する力を養う。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 細胞の構造</li> <li>2. 細胞膜の輸送/ATPの合成</li> <li>3. 体細胞分裂/減数分裂</li> <li>4. 細胞増殖とからだの成り立ち</li> <li>5. 遺伝とDNA</li> <li>6. DNAの複製と転写</li> <li>7. 突然変異</li> <li>8. 受精/生殖と発生</li> <li>9. 個体の調節</li> <li>10. 各器官の働き (1)呼吸器系・消化器系</li> <li>11. 各器官の働き (2)循環器系・免疫系</li> <li>12. 各器官の働き(3)排出系・神経性相関液性相関</li> <li>13. 受容器</li> <li>14. 神経伝達</li> <li>15. 環境問題</li> </ol>
授業形式	講義
テキスト	医療・看護系のための生物学(裳華房)
評価方法	記述試験(100点満点)

授業科目	生命倫理	
開講時期	3年次 11月	
単位数	1	
時間数	15	
担当講師	隈本邦彦（江戸川大学）	
科目 目 標	医療現場にもたらされている様々な倫理的問題に取りくんでいくために、看護者に求められている基本的能力を養う。	
授 業 内 容	<p>倫理的問題にとりくんでいくために必要な知識（講義）  生命倫理の歴史的潮流  インフォームドコンセントと自己決定  臨床倫理の今日的課題</p> <p>医療現場でおこる倫理的葛藤を体験し、  看護者として患者の権利を擁護するとは（演習）</p> <p>看護師としてのアドボカシーとは（講義）</p>	
授業形式	講義・演習	
テキスト		
評価方法	レポート評価 ならびに グループワーク参加・発表状況 （100点満点）	

授業科目	情報科学	
開講時期	3年次 4月	
単位数	1	
時間数	15	
担当講師	綱島修	
科目 目 標	情報の収集と整理、活用方法について学び、調査研究に必要な基礎知識を学ぶ。 また、看護における情報収集と活用について学ぶとともに、情報倫理の現状と必要性を理解できる。	
授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 統計学とは</li> <li>2. データ収集</li> <li>3. 表とグラフ</li> <li>4. 看護研究と検定</li> <li>5. 平均値の検定</li> <li>6. ばらつき・関連について</li> </ol>	
講義形式	講義・演習	
テキスト		
評価方法	記述試験（100点満点）	

授業科目	コミュニケーション論	
開講時期	1年次 4月～翌年3月	
単位	1	
時間数	30	
担当講師	専任教員(1年次担任・副担任)	
科目目標	コミュニケーションの基礎を学び、体験を通して、自他の理解を深め、よりよい人間関係をつくる基礎的能力を養う。	
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1) 社会人としてのマナー・コミュニケーション</li> <li>2) 個人情報と管理、医療職における情報管理</li> <li>2. 「ジョハリの窓」自己理解について</li> <li>3. 1) 体験学習 <ol style="list-style-type: none"> <li>①リーダーシップ・メンバーシップの素地</li> <li>②自己理解と他者への関心と受容</li> </ol> </li> <li>2) 体験学習 <ol style="list-style-type: none"> <li>①メンバーとの協調性と協力</li> </ol> </li> <li>3) 体験学習 <ol style="list-style-type: none"> <li>①自己の行動が他者に与える影響の理解</li> <li>②自己の価値観の気づきとメンバーの考え方の理解</li> </ol> </li> <li>4. 看護学生としての振り返りと課題</li> <li>5. 接遇「他者に不快感を与えない態度・対処法」</li> </ol>	
授業形式	講義・演習 グループワーク	
テキスト		
評価方法	レポート評価 ならびに グループワーク参加 発表状況 (100点満点)	

授業科目	社会技能論	
開講時期	3年次 10月	
単位	1	
時間数	30	
担当講師	渡邊芳之(帯広畜産大学教授)	
科目目標	人間関係についての理論を学び、専門職業人として主体的に他者と関わる能力を養う。	
授業内容	<p>イントロダクション: 対人関係職としての看護職</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療従事者の仕事</li> <li>2) 社会技能(ソーシャルスキル)の必要性</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対人関係の基礎理論 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社会的行動を作り出すもの</li> <li>2) 社会的知覚</li> <li>3) 態度と態度変容</li> <li>4) 対人魅力</li> <li>5) 援助と攻撃</li> <li>6) 集団とリーダーシップ</li> <li>7) 同調と服従</li> </ol> </li> <li>2. コミュニケーションの技術 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) コミュニケーションとは</li> <li>2) 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション</li> <li>3) 聞き上手とカウンセリングマインド</li> <li>4) 傾聴と受容のサイン</li> <li>5) 会話の技術</li> </ol> </li> <li>3. 人の行動を改善する～パフォーマンス・マネジメント <ol style="list-style-type: none"> <li>1) パフォーマンス・マネジメントの考え方</li> <li>2) 他人に何かをさせる方法</li> <li>3) 自分を規則正しく行動させる方法</li> <li>4) 問題行動のマネジメント</li> </ol> </li> <li>4. ストレスとつきあう～ストレスマネジメント <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ストレスとは何か</li> <li>2) ストレスを防ぐコミュニケーション</li> <li>3) ストレスや感情にどう対処するか</li> </ol> </li> </ol>	
授業形式	講義	
テキスト		
評価方法	記述試験(100点満点)	

授業科目	国語表現	
開講時期	1年次 4月	
単位	1	
時間数	30	
担当講師	高橋 啓	
科目 目 標	文学作品や多くの文章にふれ、感性を磨くとともに他者の考えや生き方を理解する。 また国語の基本を学び、適切に自己表現する力を養う。	
授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作文の書き方</li> <li>2. 手紙の書き方</li> <li>3. 表記の仕方</li> <li>4. 語句の用法・文の区切り</li> <li>4. 文章の推敲</li> <li>5. 説明の方法</li> <li>6. 福音書から「治癒」について</li> </ol>	
授業形式	講義	
テキスト	資料 福音書 国語表現(教育出版) 国語表現演習ノート(教育出版)	
評価方法	記述試験(作文) 小テスト (100点満点)	

授業科目	英語	
開講時期	1年次 4月	
単位	1	
時間数	30	
担当講師	原口比佐	
科目 目 標	英語の基礎力を高め、医療の現場で必要とされる英語力を身につける。	
授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション(年間学習計画)</li> <li>2. 音楽と英語(リスニング)</li> <li>3. 数と英語(リスニング)</li> <li>4. 職業と英語(病院案内)</li> <li>5. 英文鑑賞</li> <li>6. 映画鑑賞と英語</li> <li>7. メディア(TV・新聞)と英語</li> <li>8. 医療と英語 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 症状と英語表現</li> <li>2) 疾患名と英語</li> <li>3) 看護業務と英語</li> </ol> </li> </ol>	
講義形式	講義	
テキスト	How are you feeling Today? やさしい看護英語(成美堂)	
評価方法	記述試験(100点満点)	

授業科目	英会話				
開講時期	2年次4月				
単位	1				
時間数	30				
担当講師	HO 麻紀				
科目目標	国際化をふまえ、英会話の基礎を身につける。				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初診時の対応</li> <li>2. 身体部分の名称</li> <li>3. 医療用語</li> <li>4. 患者への説明</li> <li>5. 身体計測</li> <li>6. 医療用語・親族用語</li> <li>7. 症状についての情報収集</li> <li>8. 入院患者への対応</li> <li>9. 受診時の対応</li> <li>10. 患者の質問の対応</li> </ol>				
授業形式	講義				
テキスト	Speaking of Nursing 看護系学生のための 英語コミュニケーション 南雲堂				
評価方法	記述試験(2回) <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td>中間テスト50%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最終テスト50%</td> </tr> </table>	{	中間テスト50%		最終テスト50%
{	中間テスト50%				
	最終テスト50%				

授業科目	保健体育
開講時期	1年次4月
単位	2
時間数	60
担当講師	嶋貫 清治
科目目標	体育実技を通して、体力の維持・増進をはかる。
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. バレーボール</li> <li>2. バasketボール</li> <li>3. バトミントン</li> </ol>
講義形式	実技
評価方法	実技試験 ならびに実技実施状況 (100点満点)